

やすらぎ短信

令和2年
4月号

春祭り



雪解けも進み、春らしくなってきました。浦幌町内には、それぞれの地区でおまつりされている神社が二十四社あり、春になると地域の氏子が集い、注連縄を張り、幟（のぼり）を上げて、今年の豊作をお祈りする春祭りが行われます。この春祭りを「祈年祭」（きねんさい・としごいのまつり）といいます。「とし」とは「稲の美称」、「こい」は「祈る・願う」ことで、お米を始めとする五穀の豊穰を祈るという意味です。日本人は古来より、四季がはじまる春の「祈り」を大切にし、「祈り」が「稔り」に繋がると信仰してきました。「稔（みのる）」

という字は、「禾（のぎへん）」に「念（ねんじる）」と書きます。「禾（のぎへん）」は、よく知られている部首の一つですが、「稲」を意味します。「稔」以外でも、「種・秋・稲・穂・穫」など、「稲」に關係する字であることがわかります。「稲」は「いのちのね」であり、食物の総称とされています。春祭りで食物の育成を「念じる」ことが「稔り」に繋がるという信仰を脈々と受け継いできたのが神社の春祭りです。

浦幌神社氏子会定期総会 書面会議にて開催

今年度の浦幌神社氏子会定期総会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、神社に参集せず、三月十六日付けでの書面会議とさせて頂き、原案どおりご承認を頂きました。また、本年度の当番区は、住吉一区・新桜町・緑町の三町内です。八月二十九日・三十日に斎行される「夏季みこし祭」の準備をお願い致します。なお、議案書は

各町内会長様、総代、副総代へお送り致しております。本年度も神社諸祭事・諸行事を恙無く遂行致したく、氏子皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

春の社日祭を斎行

去る三月二十六日午後一時より、春の社日祭を斎行致しました。当社には社殿横に社日碑がまつられており、毎年、



春と秋に帯富、千歳の氏子等によつて社日祭が行われております。当日も穏やかな天候にめぐまれ、参列者は昨年同様に豊作でありますように、また、農作業事故がないよう農事安全を祈願していただきました。収穫の秋を笑顔で迎えられるようお祈り申し上げます。

宮司の 一筆

「コロナの対応 冷静に慎重に」

世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、未だに終息の気配が見えない。お亡くなりになられた方々には、心からお悔やみを申し上げたい。誰もが先行きが見えず、不安を抱えて毎日を過ごしている。しかし、未知のウイルスに対して、現場で最善を尽くし、感染拡大防止に努めてくれている方々のことを思えば、不安や不満ばかりを言わず、一人ひとりが冷静に慎重に感染防止への対応をしていかなければならないと反省するところでもある。今大事なのは誤った情報に振り回されずに、最善の注意をはらいながら、各自が免疫力をしっかりとつけることだと思う。笑いや明るい気持ちで免疫力を高めるといふのは科学的に証明されている有名な話だ。自粛ばかりで気が減入ってしまうこともあるが、必要以上に恐れずに明るい気持ちを保ちながら、この危機を皆で乗り越えたいと思う。

「祈願名刺奉納所」増築

当社には、伏見稲荷神社とバイクの交通安全祈願所に、名刺を奉納して祈願できるようになっており、毎年、沢山の方向が参拝されています。ここ数年で、神様のご神徳も広まり、参拝者が増えたことから、この度、名刺奉納所を増築致しました。三月吉日に清祓い式を斎行致しました。今年もたくさんの方々のお参りをお待ち致しております。



伏見稲荷神社



バイクの交通安全祈願所

神社の鯉のぼり

浦幌神社では、端午の節句にあわせて、子どもたちの健康を願い、境内に鯉のぼりを上げます。お子様、お孫様と一緒に空高く、勇壮に泳ぐ大きな鯉のぼりをどうぞ見にきて下さい。

期間 四月二十八日～五月五日まで



浦幌神社行事予定

四月一日 月次祭
四月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八